

風かほる

【教育目標】

心豊かな生徒

自ら学ぶ生徒

健康でたくましい生徒

今日から3学期が始まります。1年間のまとめの時期となりました。引き続き、学校と家庭との連携、協力を今後もよろしくお願ひします。

3学期を迎えて（校長講話から）

校長 出居正之

今日は、新年にあたって、鎌倉時代の隨筆「徒然草」の一節を紹介します。2、3年生は国語の授業でも勉強したことと思います。第19段（ひとまとめを段と呼んでいました）に「折節の移り変わること、ものごとにあはれなれ」、季節が変化することが面白いといった意味の文で始まります。紹介するのは、最後のほうにある一文です。

「かくて明け行く空のけしき、昨日に変りたりとみえねど、ひきかへめずらしき心地ぞする」

この段では、4つの季節ごとにそれぞれ作者が素敵だと思っている出来事を上げて説明しています。今紹介した部分の前には冬の景色が述べられています。この文の意味は、「夜が明けていく元旦の初日の出の空の景色は、昨日の日の出と変わりがないはずだが、新年を迎えて、素晴らしい新鮮な感じに見える」というものです。新しい年を迎えて、今年はこんな年に、こんな自分に…と考えることで、当たり前の景色も違ったものに見えてくるということでしょう。

皆さん、新年を迎えて、どんな気持ちをもちましたか。

3年生は、9年間の義務教育の終了まで実質あと2か月。1、2年生は、それぞれ2、3年生への進級まであと3か月です。皆さんには、新年を迎え、もう一度自分で自分を見つめて、成長のためにどんな1年にしたいか考えてほしいと思っています。

最後に、皆さんに見もらいたいものがあります。

これは、昨年末移籍で話題になった大谷翔平選手が、高校1年の時につくった曼荼羅といわれる目標設定のシートです。

高校1年の時の大谷選手の目標が「8球団からドラフト1位」だったことがわかります。そして、目標を細かく具体的にていきます。体づくり、コントロールなどと並んで、メンタル、人間性、運など努力のポイントを具体的に考えています。メンタルでは、頭は冷静に心は熱く、人間性では、愛される人間、運では、審判さんへの態度、挨拶、道具を大切に使うなど、野球の技術だけでなく、日常の生活から自分を作っていくと考えていることがわかります。

2学期の終業式でサッカーの話をしたことを覚えていました。ボールを持っていないほとんどの時間に何を考え、何を予想して走っているかが、試合で活躍できる選手に必要な条件だということでした。今のこの時間もそうです。皆さんは、座ってこちらを見ていますが、何を考えているかは見えません。それがわかるのは皆さん自身ですし、皆さんのが何を考えるかを決めているのも皆さん自身です。

ぜひ、皆さん一人一人が、自分の頭で考え行動しながら、成長できる1年にしていきましょう。

大谷翔平曼荼羅									
体のケア	カラメント	PSQ 90kg	レスポンス改善	体幹強化	軸をもつて	角度をつくる	上からホールド	リストの強化	
柔軟性	体づくり	RSQ 130kg	リースポット	の安定	コントロール	不安をなくす	力がない	キレ	下身主導
ストミナ	可動域	筋肉系	下腹の強化	体を動かす	ハーフコントロール	ホールド	回転強化	可動域	
あきらめない	喜愛	寝起き	軸をもつて	軸をもつて	下腹の強化	体重増加			
めぐらしがい	メンタル	集中力	コントロール	キレ	軸をもつて	下腹の強化	体重増加		
変遷	勝利への執念	集中力	ドラフ	スピード	スピード	スピード	スピード	スピード	肩周り強化
	仲間との絆	集中力	8球団	160km/h	体幹強化	160km/h	肩周り強化		
	思ひやり	人間性	運	審判への態度	可動域	ランニング	ランニング		
	感性	愛かう間柄	運	運	変化球	カットボール	カットボール	カットボール	
	思ひやり	人間性	感謝	運	審判への態度	オーバーアクション	オーバーアクション	オーバーアクション	
	礼儀	信頼される間柄	大谷翔平	本を読む	人間における本を読む	カットボール	カットボール	カットボール	カットボール

裏面あり

後期学校評価へのご協力ありがとうございました。

2学期末にお願いしました後期学校評価については、400名（全校生徒の約65%）の保護者の皆様にご提出いただきました。お忙しい中、南陵中の子供たちのためにご意見をいただけたことに感謝いたします。昨年度から提出の利便性を考え、提出方法を変えていますが、昨年より多くの方のご意見を頂けました。今後とも、ご協力をお願いいたします。結果につきましては、あらためてお知らせします。

温かいお気持ちありがとうございます

今年も、地域の方から、コロナ禍の中で受験にむけて頑張る3年生のために、ということで、手作りの合格祈願のお守りをいただき3年生に配りました。しおりとしても使え、ひとつひとつ丁寧につくっていただいたものです。地域の方の子供たちへの愛情を実感しました。



いじめ撲滅のために

昨年11月には、保護者の皆様にもアンケートを通じて、いじめをしない、許さない生徒の育成にご協力いただきありがとうございました。349名の保護者に提出いただきました。

さて、2学期間における本校のいじめの認知件数は70件でした。いじめ防止対策推進法のいじめの定義では、「(略) 当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう」とあります。いじめとされる行為を行った生徒に「いじめ」の認識がなくても、また、それが過失や善意に基づく行動であっても、当該生徒が心身の苦痛を感じたら法的には「いじめ」に該当します。

このように、法で定められた「いじめ」の範囲はとても広いものです。本校のケースでは、度重なる暴力や金品等を奪うなど犯罪となるような事案は把握していませんが、相手の立場や状況をそうぞうできずに、悪口（SNSによるものも含む）や一時の感情の高ぶりによる乱暴な言動などが多く見られます。学校教育の場面では、生徒が日常的な接触、衝突を繰り返しながら、関係性の構築方法、言い換えるならば、他者との距離感を身につけていく場でもあります。

ご家庭からも、「よく話を聴きつつ、いろんな考え方や行動などを認め合えたらいいねと話していこうと思います」「教師の、～あるべき、という概念の見直しが必要」など貴重なご意見をいただきました。一方、ご家庭でいじめについて親子で話したことがない、いじめ防止基本方針を見たことがないご家庭もあることがわかりました。いじめに関して、保護者の役割は大きく3つあると言われています。一つ目は、子供にいじめをしてはいけないことを教えていくこと。二つ目は、子供がいじめを受けた場合、適切にいじめから保護すること。三つ目は、いじめ防止のため、学校と協力して取り組んでいくことです。

学校では、引き続き、ご家庭と連携しながら、どの生徒も安全・安心に過ごせる学校をめざします。

埼玉県学力・学習状況調査の結果について

昨年実施された埼玉県学力・学習状況調査の学年別の結果をTetoruにてお送りします。学年ごとの学力検査の結果、「規律ある態度（生活に関する質問紙調査）」をご覧ください。

新生徒会本部役員による活動のスローガンです。自主的。自治的な活動を期待しています。